



小さな拠点づくり

Creating a small base

私たちの町をご紹介



神話まつわる名所が点在する町

赤屋地区は安来市の南端に位置し、神話にまつわる名所がたくさんある地区です。地区内では特に3つの名所が有名です。「鷹入(たかいり)の滝」は鳥取県との境にある標高704mの鷹入山の中腹にある三段の滝で、「平成の名水百選」にも選ばれています。滝の高さは10mで、滝壺の前には伝説の女神を奉ずる祠があります。

また、長江山(ながえやま)には、高さ20メートル、幅5メートルの「稚児岩(ちごいわ)」があり、出雲国風土記によると、この岩に大国主命(オオクニヌシノミコト)が座ったと記されています。

「上の台(標高330m)」には古墳群があり、この場所からは東に大山、北に中海・島根半島を望め、伊邪那美命(イザナミノミコト)の神陵地とされる比婆山を遥拝することもできます。



小さな拠点づくりとは?

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、様々な課題の解決が必要です。 そのために知恵を出し合い、計画をつくって出来ることから 少しずつ取り組んでいくことが「小さな拠点づくり」です。



小さな拠点づくり

Creating a small base

私たちの アイデア

11

くごする会



まちのひとの声

てごする会」はいつも がたく、親のように接し てもらえて嬉しいです。



「あかやてごする会」は2019年に「し まね流福祉のまちづくり活動団体知 事表彰」を受賞しました。これをきっ かけとして、今後も、さらに安心して 暮らせる地域づくりを目指していま す。最近は、会員数が減少傾向にあ るので、高齢者が集まるサロンなど に直接出かけて行うPRや、会員募集 のチラシを各家庭に配布するなど、 会員数の増加を目指しています。

「てごする会」はお手伝いしてほしい 「利用会員」と、お手伝いする「協力会 員」から構成される相互援助組織で す。依頼内容の多くが通院や買い物 への援助・介助で、その他に草刈りな ど普段の生活の手助けを有料で行 います。会員同士で直接やり取りす る仕組みに変更後、利用件数が増加 しました。

2015年、安来市社会福祉協議会が 主体となり、住民を対象に「生活に関 するアンケート」を実施。8割以上の 方が「一生ここで暮らしたいと考えて いる」と回答しており、年々上昇する 高齢化率や不便な環境などの課題 解決に向けて、2016年に「あかやて ごする会」を発足しました。住み続け る町づくりを目指し、日々活動に取り 組んでいます。



小さな拠点づくりとは?

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、様々な課題の解決が必要です。 そのために知恵を出し合い、計画をつくって出来ることから 少しずつ取り組んでいくことが「小さな拠点づくり」です。

idea

小さな拠点づくり

Creating a small base

私たちの アイデア

11

安来市

赤屋地区

(あかやてごする会)



ささえ愛ネット_ 治会ごとの問題



「あかやてごする会」は2019年に「し まね流福祉のまちづくり活動団体知 事表彰」を受賞しました。これをきっ かけとして、今後も、さらに安心して 暮らせる地域づくりを目指していま す。最近は、会員数が減少傾向にあ るので、高齢者が集まるサロンなど に直接出かけて行うPRや、会員募集 のチラシを各家庭に配布するなど、 会員数の増加を目指しています。

災害時の課題を整理しながら、安心 安全に暮らすことを目指すマップづく りを行っています。自治会ごとに、危 険箇所や一人暮らし世帯などを分か りやすく色分けし、災害の発生など、

もしもの場合を想定した準備を進め ています。地域の状況を把握するこ とで、地域の人がいつでもお互いに 声を掛け合える関係づくりにも役

立っています。



2015年、安来市社会福祉協議会が 主体となり、住民を対象に「生活に関 するアンケート」を実施。8割以上の 方が「一生ここで暮らしたいと考えて いる」と回答しており、年々上昇する 高齢化率や不便な環境などの課題 解決に向けて、2016年に「あかやて ごする会」を発足しました。住み続け る町づくりを目指し、日々活動に取り 組んでいます。



小さな拠点づくりとは?

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、様々な課題の解決が必要です。 そのために知恵を出し合い、計画をつくって出来ることから 少しずつ取り組んでいくことが「小さな拠点づくり」です。